

## 神奈川県横浜市の大樹さん

特別住民番号2152

前略御免下さいませ

私はこの度ご縁により貴地大樹町の特別住民にお仲間入りさせていただきました橋本大樹の祖母でございます。有難うございました。

命名に際してのエピソードをとの御申越し頂きまして、半時を懐かしく想い起こして居ります。大樹は昭和47年1月、七草の日に周囲の待ち望むなか、娘の第一子として誕生致しました。大きな声でよく泣く子でした。

さあ名前をとという事で皆で話し合いました。父親は「大」の字をつけた名前にしたいとの意見でした。私も考えました。以前から私の居間の壁に野中の一本の大樹を画いた油絵が掛けてありました。私はその絵が好きでした。見る度、「寄らば大樹の陰」の言葉を思い出しておりました。

それで大樹と書いて「おおき」と読むのはと申しましたところそれに決まりました。

本年27才の社会人でございます。

このさきも「自分を大切にすると同様に他をも大切に」そんな人生を進んで貰いたいと念っております。

末筆ながら大樹町益々の御発展を祈り上げます。(母)



## 北海道札幌市の大樹さん

特別住民番号2157

わが家の長男大樹は、平成5年10月12日に誕生しました。

命名にあたっては、5歳離れた姉の積極的な参加もあり、名前事典なる書を何冊も読みくらべては、家族で毎日名前談議に花を咲かせておりました。名前の候補の中には、姉が考えていた「だいき」という名があり、姉は「その名前にしないとめんどろみでやんない」と頑張っていましたので、それでは困る……という思いがあり、姉の考え通りに「だいき」という名前に決定する事となりました。

それから後は、父と母とで漢字使いの選択……。

当時わが子は少し小粒で、泣き方も弱々しく、母としてはちょっと心配していた事もあり、大きく育てて欲しい願いから、上の漢字には「大」の字を選び、姉の名前に花を使っているのので弟には「樹」を使おう……という事で「大樹」と考えていました。

しかし、名前事典を読むと姓と名の全体運があまり良くないと出ていた事で、けっこう悩むはめになってしまいました。

そして悩んだ末に、TVのコマーシャルで見かけた「この樹何の樹、気になる気になる……(省略)みんなが集まる樹になるでしょう。」をふっと思い出し、大樹もそんな大樹(たいじゅ)となりたくましく育てられる事を信じて祈りつつ、全体運の最高に良かった「大輝」をけとばしての堂々たる命名となった理由です。(父母)



## 愛媛県松山市の大樹さん

特別住民番号2158

昭和20年4月、主人の父は、自分の子供の顔を見ることもなく、「直樹と命名してくれ。」と言い残して、呉の病院で亡くなったそうです。その年の一月に主人は生まれていたのですが、終戦の年でもあり、今の様に交通の便がよいわけもなく、身内の者に看取られることもなく、さぞ無念であったと思います。

私達が結婚したのは昭和48年、50年10月に男の子に恵まれました。主人



は、子供の幸せを願い名前だけを残していったお父さんの気持ちを、しっかりと受け止めていたのではないのでしょうか。男子なら必ず「樹」という文字を使うのだと、ずいぶん前から話していました。一字は決まっていたのですが、後はなかなか決まりません。そんな時、私が読んでいた本の中に、昔のことで記憶がはっきりしていないのですが、たしか、佐賀のお殿様の中に「直大公」と呼ばれる方がいらっしゃった、ということが書いてあったのです。それで、その「大」をいただいて、「大樹」としたらどうかと思いつき、主人に話すと賛成し、読み方は「ひろき」ということにしました。その頃、テレビで「この木何の木、大きな木…」というコマーシャルもながれていて、一本の大きな木が画面に映し出されていました。それを見ながら、成長してあんなに大きく腕を広げ、木陰をつくり、そこにみんなが集まって、憩うことができるような気持ちのおおらかな、誰からも好かれる人になってくれればいいと、願いを込めました。今年社会人になった息子は、体重がいささかオーバーぎみで、私の思いとは少し違い、名前負けしてるかな、とも思いますが、結婚して子供ができたら、男子でも女子でも、名前に「樹」をつけるのだと話してくれました。私達のつけた名前をこの子は気に入ってくれているのだと、とても嬉しく思いました。そうして、亡くなった祖父の気持ちが、主人を通して大樹に、そして、孫へと代々受けつがれていくのだと思うと、祖父もきっと喜んでいてくれると思います。(母)

## 神奈川県川崎市の大樹さん

特別住民番号2159

私の名付けの親は祖父です。祖父は栃木県北の山林王といわれた人で、林学者、植林家、そして肥料・米穀・塩・猟銃の販売もし、昭和24年死亡するまで毎日、林学蔵書を読んでいました。

私は父(農林省役人)(植物学者・故牧野富太郎博士の高弟)の勤務の関係で東京・青山で生まれ、祖父よりの電報で「大樹」(ダイジュ)と命名されました。子供の頃は名前に抵抗を感じておりましたが、年と共に好きになり、そして東京農業大学に入学、徴兵延期となり、終戦、昭和26年卒業まで野球選手として活躍しました。卒業後、豊年製油(株)(現・ホーネンコーポレーション)に入社し、70才迄サラリーマン生活をしました。



しかし残念乍ら最愛の兄が学徒動員で「ビルマ」で戦死、そのためか、夏・冬休みに祖父と山に行き、「玉トリ」に行ったことは忘れられません。

樹木の径を計り、跨ぐらを広げて樹木の頂点を覗いた位置と、根元までの歩数で樹木の目安が判るという未だに信じられない計算法……。この様な偉大な祖父の命名は名誉と思っております。今は感慨無量です。

私の兄弟の名前は山川草木です。兄・長江、弟・山行、本草です。これも祖父、父の影響でしょう。

実家は終戦後、財産税、祖父、父の死亡による相続税・遺産分割で、昔の面影はありません。

昔から北海道に同名の町があり親しみをもっておりましたが、この様な機会があるとは思いませんでした。常に名前に負けない人格、体力を気にして73才、至極元気、ゴルフも80台復活のため頑張っています。

早い機会に貴地訪問、雄大な「大樹町」を見届けたいと念じております。

益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

大正15年5月17日

万年青年を自負す

スポーツマン

酒は毎日適量、酒が飲めなくなったらこの世は終わりと思っております

## 広島県広島市の大樹さん

特別住民番号2160

大樹が産まれたのは平成3年12月19日のことです。第一子ということもあり妊娠中は出産関連の本を読みあさり、わずかな体調の変化に一喜一憂していました。今思えばあの頃の私は、とにかく無事子どもを産むことだけが人生の目標になっていたと言っても過言ではありません。



そんな自分を落ち着かせるためか、妊娠中に赤ちゃんの名前を決めて早く呼びかけてやりたいと思う様になりました。そして女の子の名前を主人が、男の子の名前を私が決めようということになったのです。主人は迷わず「シホ」にしようと言いました。何故かと問うと、「ツツイシホ」なら逆から読めばホシイツツ(星五つ)になるから、などとケラケラ笑いながら答えていました。そんな主人だったからこそ、なにかと暗くなりがちだった私が救われた訳ですが。

一方私は真剣に名前探しを始めていました。いろいろ迷ってはいましたが、ひとつだけ決めていたことがあります。それは「樹」という字を使おうということです。実は主人の父は松夫、主人の母は葉子、主人の祖母は房子、私はみどりという名前です。どれも草木に関連する字が含まれており、子どもの名前にも——と考えて行き着いたのが「樹」という漢字でした。そして更に「樹」を使って何通りもの組み合わせを思いつくまに書き出していきました。その中で一番気に入ったのが「大樹」(ヒロキ)です。大きな樹には安定感・安心感があり、その樹陰にやすらぎを求め多くの人が集まってくる——そんなイメージが湧いてくるのでした。

産まれた子は男の子。無事産まれてくれて本当によかった。

「ひろくん、ママだよ。」

初めてこの手で抱いて息子の存在を確かめました。小学二年生になった今、多くの友人に恵まれ楽しく学校生活を送っています。息子には、現代のあくせくした世相に流されることなく人間にとって本当に大切なこととは何かをゆっくり考えながら大人になっていってほしいと願っています。(母)

## 鳥取県鳥取市の大樹さん

特別住民番号2165

平成9年2月8日(土)午前11時37分誕生。産まれる前まで、ずっと女の子だと思っており、先生から「男の子ですよ」と言われビックリ、産みの苦しみも忘れ、なかなか寝つけなかったのを思い出します。



産まれた時は、上の子より小さく、とにかく大きくなってほしいと願い「大」という字を入れたいと決めていました。出生届日ギリギリまで悩んで考え、大空のように広い心と、大きな木のようにどっしりと、力強く、やさしい子に育ててほしいと「大樹」と名付けました。

大樹とつけてから、とても元気に育ち母乳もよく飲み、5ヶ月目で母乳はからっぽになるほどでした。おかげさまで現在2才半、やんちゃ坊主に育ち、手がつけられないほどに成長しました。

自分と同じ名前の町と御縁ができましたので、この子が一人旅できるようになれば、必ず大樹町へ行かせたいと思っています。(母)

## 千葉県鎌ヶ谷市の大樹さん

特別住民番号2168

### 前略

関東地方は、永かった梅雨もようやく明け、夏真っ盛りです。突然の手紙で失礼とは思いましたが、別添の新聞記事を読みお便りした次第です。



私は、九州熊本出身で現在千葉県に在住し、東京都練馬区に所在する陸上自衛隊第一師団司令部に勤務する自衛官(51歳)です。

北海道には昭和53年3月から63年3月まで7年間、主として旭川市、上富良野町で勤務致しました。



さて、私の家族は妻、子供三人(長女、長男、二男)の計5人です。新聞記事にありません貴町名の「大樹(ひろき)」の名前は二男に付けました。

長女と長男は福岡県久留米市で誕生しましたが、二男は出産予定日の1カ月前の昭和55年12月26日お昼頃に上富良野町立病院で誕生しました。

誕生時の体重は、上の子供達と1000gも少ない2500gで当初は保育器に入りました。

小さく生まれて来ましたので、まさに新聞記事にあるような願いを込めて命名しました。

二男は現在、千葉県船橋市の公立高校の三年生で来年は大学受験を控えております。小学校四年生から少年野球を始め、先月の夏の甲子園千葉県大会まで野球の練習に明け暮れ、お陰様で身長182cm、体重70kg、性格も温厚、真面目、かつ朗らかに、男らしく、命名したとお育てしております。

将来は、日本人の一人として地域社会のために貢献できる人間になるよう期待しております。

以上、新聞記事を読み、お便り致しました。宜しくお願ひ致します。

最後に、貴大樹町の益々のご発展をお祈りいたします。

敬具

平成10年8月5日(父)

## 北海道名寄市の大樹さん

特別住民番号2175

平成元年5月に、3780グラムもある大きな赤ちゃんが生まれました。その大きな赤ちゃんが、私の息子大樹です。子供がお腹にいる時から男の子である事はわかっていましたので、最初は「ダイスケ」と名前をつけるつもりでした。しかし、本当に今となっては笑い話なのですが、たまたまテレビを見ていた時に、ある芸能人が子供が生まれ「ダイスケ」と名前をつけた事を発表していたのです。私の母親はその芸能人を前から好ましく思っており、「ダイスケ」という名前にもものすごく反対しました。いろいろ考えたすえに、「大」という字はどうしても残しておきたく「ダイキ」と名づける事にしました。けれど今となっては「大樹」と名前をつけた事を本当によかったと思っています。子供が生まれた時から、北海道に「大樹町」がある事は知っていました。いつか行ってみたいと、何年か前に家族で「大樹町」に行った時は本当にうれしかったです。「大樹郵便局」「大樹スーパー」「大樹小学校」と、どこに行っても子供の名前で町中があふれかえっていたのですから。「大樹」という名前が本当にピッタリだなと思う子供も10歳になりました。いつかまた家族で「大樹町」に行く日を楽しみにしています。(母)



## 神奈川県横浜市の大樹さん

特別住民番号2176

北海道航空宇宙産業基地推進懇談会の委員を仰せつかり、大樹町を訪れたのは、その2~3年前であった。

先に熱心に誘致をされていた苫小牧市に代わり、大樹町が名乗りをあげて熱心に活動を展開しておられる最中であった。

大樹町は特に伏見町長が非常にご熱心で、委員会には一度も欠席されたことがない。広大な土地が大きな財産ではあるが、残念ながら緯度の高さから空港はともなく、人工衛星の商業打ち上げには適当とは言えない。

そして、現地を見学し全体の状況が把握出来たころ、新聞紙上で農道航空建設を提案し、答申の一つとして取り上げていただいた。

誘致活動もよいが、先手を打って、簡便な基礎的設備を先に作り、利用の促進を進めるほうが確実に活動を展開できるとの考えである。

その後は電光石火の如く、空港の完成となる。空港公園ともすれば、凧揚げや紙飛行機を飛ばすなど、都会の子には大喜びの空間も出来る。



そして、実際に試験飛行の第一号が飛んだと聞いた時には我が子の出来事のように喜んだものである。

初孫の誕生とともに「お祖父さんが名を付けて」との依頼を受けた。

命名の本を見ながら、幾つかの案を出したがどうもしっくりしない。

三人の子供には、大輔、恒輔、友輔と名付けたが孫はむづかしい。

男の子だから、どっしりとしていい名前をと考え、産院への電車の中でふと浮かんだのが「大樹」である。

北の大地にしっかりと根を下ろして21世紀を見据えて着実に発展するであろう大樹町が私の心のどこかに住み着いていたのであろう。

発展を目指す大樹町にあやかって名付けた「大樹」は今すくすくと育って満3歳である。(父)

## 滋賀県草津市の大樹さん

特別住民番号2177

昭和61年9月6日、我家の3人目の子どもとして、大樹が生まれました。長男元樹(ゲンキ)、二男勇樹(ユウキ)は、生まれる前からもう名前が決まっていました。妊娠中、「次も男の子ですか?」の質問に「男の子だったらいやなんですか。」と医師に言われ、やっぱり男の子だ~、やっぱり…。女の子がほしいと思っていたので、ちょっぴりショックでした。



名前は、長男、二男の名前からみて、〇樹と名付ける事は、決まっていました。

近所の人からは、ヘイキ、ノンキにしたらどう? なんて言われたりもしました。結局、二人の兄たちに負ける事なく、大きく育ててほしいと願いを込めて大樹と名付けました。

今まで、いくつかの病気やけがもあったけれど、元気に育っています。